

一般社団法人ここてらす令和6年度分の事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

【事業の目的】

当法人は個人や企業の皆様から多様な寄付を集め、人と人とがつながり安心して過ごせる居場所作りを行い、人・物・金・情報等の資産の循環を通して、社会的課題の解決や「一步踏み出す人」をサポートする、「一人一人の今ここに寄り添う」一般社団法人である。

ひとり親や共働き世帯の増加に伴う子どもたちの孤立、コロナ禍から続く人間関係の疎遠化と孤立や、物価高騰による生活の困窮、地域力の低下による居場所の減少等の社会的課題を大人も子どもも共に抱えている。

このような状況に対応すべく、さまざまな資産の循環を起こす仕組みを作り、「居場所」や「人」をキーワードに地域でつながり、ひとり親や子どもたちの充実した生活と社会作りに寄与することを目的として以下の事業を行なった。

【事業内容】

- 1、子どもの居場所運営事業
- 2、宅食事業
- 3、親子イベントの実施
- 4、児童養護施設へのバースデーケーキ寄付

【事業の成果】

・以下の事業を実施した。

- 1、子どもの居場所事業を4月1日より運営を行った。
- 2、基山町在住の必要家庭につき一回の宅食を行った。
- 3、子どもたちの経験不足を解消するためのイベントを年9回開催。
- 4、児童養護施設、洗心寮へバースデーケーキの寄付25回。

＼いつもありがとうございます／

令和6年度のご報告

昨年度は大変お世話になりました！
令和6年度には「子どもの居場所」
開催が通算650回を突破しました！



日本財団の補助が終わり、自分たちでの資金調達
など大変なこともたくさんありました。
一方で利用者も増え、居場所だけではなく支援や
事業も増やしています。

令和6年度は個人会員19名、法人会員7社にサポーターとなっていただき、
約46万円の寄付をいただきました。
その他募金箱等への寄付も約18万円を頂戴いたしました。
これらの寄付はここてらすの家賃（96万円／年）に使用いたしました。

ここてらすは令和3年度から令和5年度まで
日本財団からの助成金を受けています。
家賃以外の運営費は助成金から捻出しています。

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

事業名	具体的な内容	A 当該事業の実施日時 B 当該事業の実施場所 C 従事者の人数	D 受益対象者の範囲 E 人数
子どもの居場所 運営事業	子どもたちとの交流 食の提供	A 月、水、金 17 時から 20 時まで R6 年度開所日数 137 回 B 主たる事務所 C 1～5 人	D 基山町とその周辺地域 E 1 日、7～20 人
宅食事業	お米 5 キロと食品約 2000 円分 計 5000 円の食品を 16～20 世帯へ 配布 雑談・相談	A 第 3 又は第 4 土曜日 B 各家庭へ配送 C 1 人	D 基山町在住の子育て世帯 E 約 60 人
体験・イベント	・新星児を祝う会 5/6 ・ロケット教室 5/18 ・ふく珈琲のバリ農園報告会 6/29 ・きのくに祭り出店 7/20 ・新星児を祝う会 9/14 ・草スキー出店 9/21 ・東明館留学生と地域交流会 10/19 ・クリスマスパーティー 12/25 ・離島体験ツアー 3/27.28.29	A 左に記入 B ここてらす 基山っ子みらい館 瀧光徳寺 洗心寮 C 2～6 人	D 基山町とその周辺地域 E 1 イベント、5～30 人
児童養護施設への バースデーケーキ 寄付やイベントの 開催	センター薬局様とばるっこ様 ココパーツ様からの協賛をい ただき、洗心寮へケーキのプ レゼントを行った。	A 施設の子の誕生日 B 洗心寮 C 1～3	D 洗心寮入寮者 E 25 回

【メディア掲載、イベント登壇等】

・メディア掲載

佐賀新聞「日本財団子ども第三の居場所事業活動報告」知事表敬訪問
NHK ラジオ「まんまる」2/25

・イベント登壇

YDK 九州様新入社員 SDGs 研修、地域の居場所事例発表 6/28
佐賀さいこう表彰（地域づくり・協働部門）表彰式 12/1
こども福祉大学、テーマ「こどもの居場所」2/12



募金箱設置箇所

・main hair 様 ・やんややんや様 ・神唐ダイキョー弥永店様 ・魚よし様